



問 小松原笠内線の進捗状況は

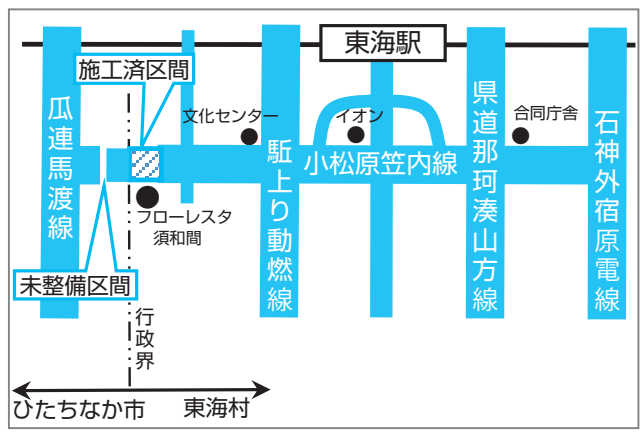
答 本村区間は9月完成、ひたちなか市は交渉中

新政会 飛田 静幸 議員

議員 ①道路や歩道にかかる樹木や枝に対する対策②石神コミセンから石神小に行く段差のある道路③小松原笠内線の進捗状況について何う。建設農政部長 ①「広報とうかい」

う。③小松原笠内線は村にとって大きなメリットのある道路である。今後の見通しについて何う。建設農政部長 今のところ、開通の目処が立っていない。

で周知し、地権者の方々に御協力をお願いしてきたところで、理解も深まってきたものと考え。今後ともパトロールを強化し、通行する際の安全確保に努める。②新たな工法で来年3月末の完成を予定している。③本村区間は、開発業者が今年9月末完成を目指し施工している。ひたちなか市側は計画331mの内256m区間の工事は完了しており、残区間は現在地権者と交渉を進めている。



小松原笠内線案内図

議員 「節水に努め今月の検針で5㎡しか使っていないのに、下水道料を含め2カ月で5100円は高い。どうせ払わなければならないのなら節水が馬鹿らしい」という声が寄せられた。少量使用者のこの気持ちは理解できる。①基本料金の水量設定の考え方は何か。②基本料金の範囲20㎡以内使用世帯の割合はどの位か。③少量使用の家庭に配慮した基本料金の水量設定を検討してはどうか。建設農政部長 ①一定水量までの料金を定額にすることで日常最低限必要な生活用水料金の低廉化を図り、その範囲内の水を自由に使用することで公衆衛生の向上に寄与する。同時に経営の安定化を図る。②基本水量以内使用は約31%。③今後、公営



問 水道料の基本料金・水量の分割はできないか

答 今後の料金改定で水量設定のあり方を考える

日本共産党 大名美恵子 議員

企業としての財政基盤整備の資金や最低限かかる維持費を基本料金からも確保することを考慮し、水量設定のあり方を検討したい。

議員 料金引き上げを伴わせない設定変更が重要。県水の契約水量見直しを県に求めるなど経営努力をすべき。



洗面所での水使用も大切に